

山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会第6回中間報告書

山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会といたしまして、前回中間報告以降の調査、検討における概要につきまして、山口市議会会議規則第45条第2項の規定により報告をいたします。

本特別委員会では、新本庁舎整備において求められる議会の機能に関し、議会の活性化、充実した審議・審査に資するための議場、委員会室、諸室の整備等について議論を重ねてまいりました。このうち、先般、執行部から提案がなされた市議会フロア平面計画については、第14回から第16回にわたる特別委員会での協議を経て、フロア全体の動線を考慮し諸室の配置変更をすることについて意見を取りまとめたところです。

令和2年11月19日開催の第17回山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会では、本特別委員会の意見を踏まえ、フロアの有効活用をはじめとしてセキュリティアエリアにも配慮された新たな市議会フロア平面計画の提案が執行部からなされました。市議会フロアに関しましては、今後も引き続き、実施設計に向け、さらに知見を深めつつ議論を重ねてまいりたいと考えております。

また、執行部からは、本年12月を目途に取りまとめることとされていましたが基本設計について、電気・機械設備の計画検討に不測の日数を要し、概算事業費の算出に遅れを来していることに加え、周辺道路及び構内道路の形状等について協議検討を進めている状況であり、そのスケジュールに遅れが生じているとの説明を受けたところです。その上で、基本設計のうち、ユニバーサルデザインの考え方、サイン計画の考え方、BCP計画、環境配慮計画等についてその考え方を明らかにされ、加えて、本特別委員会に先立ち開催された第7回山口市新本庁舎整備専門会議における各委員からの御意見についての報告がありました。

その後の協議においては、周辺道路との接続に関する関係機関との協議状況や、それに伴う構内の道路線形の検討状況について質疑を行い、今後の見通しを確認しました。また、立体駐車場については、地下駐車場部分の有無により、10億円以上整備コストが増加することを踏まえ、地下部分を設けない駐車場として整備することの検討を求める意見や、中心商店街等の周辺駐車場の活用などによる必要台数について精査されたいといった意見がありました。加えて、周辺道路からの歩行動線の検討状況、コンビニエンスストアや金融機関等の配置に関する検討状況、ユニバーサルデザインや職員の働き

方の観点からの執務エリア、休憩室等の在り方、BCP計画における災害時対応、環境に配慮した照明設備の検討等、多岐にわたるテーマで議論を行いました。

現在取りまとめ作業を進めておられる基本設計につきましては、今後の事業実施を滞りなく進めるための重要な過程であると認識しております。執行部におかれましては、未来の山口市を見据え、さらに精査・検討を行われ、本特別委員会といたしましても市民の皆様にも愛される新本庁舎建設につながりますよう、引き続き、議論・協議を重ね、意見を申し述べていきたいと考えております。

以上、山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会の第6回中間報告といたします。

令和2年12月21日

山口市新本庁舎の建設等に関する調査特別委員長 野村 幹 男